

令和 6年11月18日

小野市議会議長 高坂 純子様

総務文教常任委員会
掘井 ひさ代

行政視察報告書

先般、実施しました 総務文教常任委員会 行政視察の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察実施日 令和 6年11月12日（火）

2 視察メンバー

委員長 河島 信行 副委員長 宮脇 健一
委員 掘井ひさ代 前田光教 山本悟朗 高坂純子 小林千津子 川名善三

3 視察先及び調査内容

【視察先】 滋賀県守山市（人口：約85,871人、面積：55.73Km²）
もりやまエコパーク環境センター

【調査内容】 小野市・加東市・加西市が共同で新設する「新クリーンセンター」のため
先駆モデル地域の施設見学

4 調査結果

≪視察場所≫

① もりやまエコパーク環境センター

所在地 守山市環境学習都市記念公園1番地2

≪視察内容≫

【施設概要】

施設規模 熱回収施設71t/24h（35.5t/24h×2炉）

リサイクル回収施設10.68t/5h

敷地面積 2.5ha

工 期 平成30年～令和3年9月
稼 働 令和3年10月

【施設コンセプト】

- 1) 安全・安心で安定した稼働ができる施設
- 2) 環境に最大級配慮した施設
- 3) エネルギーと資源の有効活用を積極的に推進する施設
- 4) 市民に愛され、地域の活性化に資する施設
- 5) 経済性に優れた施設

【設備概要】

熱回収施設 受入供給設備・燃焼設備・燃焼ガス冷却設備・排ガス処理設備
灰出設備・余熱利用設備（蒸気タービン発電設備 1,400KW）

リサイクル施設 受入れ供給設備・破碎設備・選別設備

【施設の特徴】

- ・ 70 t 級の小規模施設だが、高温高圧（4Mpa、400℃）の蒸気条件で高い発電効率（17%）を達成
- ・ タービン排熱を利用し、交流拠点施設の温水プールへの熱供給（熱利用率 1.5%）
- ・ 焼却の際に発生する熱エネルギーを利用する、**サーマルリサイクル**の取り組み
売電 6,500万円 ～ 6,800万円の収入
- ・ **煙突が目立たなく**、景観に配慮した外観デザイン
- ・ 埋設廃棄物対策として**ランプウェイ**を採用
- ・ **充実した施設見学（バーチャル炉内体験・トリックアート等）の実施**
市内の4年生（約1,000人）が施設見学しゴミの分別の必要性等について指導している

見学した児童の意見・感想

【守山市環境学習都市宣言（2017年10月制定）】

「市民一人ひとりが守山の環境について、さらに理解を深めるとともに、学び考え、行動すること」とする自治会からの決意表明を受け、市民の手によって定められたもの。

【熱回収施設見学】

計量機 ⇒ プラットホーム ⇒ ごみピット・ごみクレーン ⇒ 焼却炉 ⇒
ボイラ ⇒ 蒸気タービン・発電機 ⇒ バグフィルタ ⇒ 中央制御室 ⇒
混練機 ⇒ 灰ビット・灰クレーン

【リサイクル施設見学】

プラットホーム ⇒ 低速回転式破砕機 ⇒ 高速回転式破砕機 ⇒
粒度選別機 ⇒ 破砕鉄手選別コンベヤ ⇒ ペットボトル圧縮梱包機 ⇒
空き缶用圧縮機 ⇒ スプレー缶処理機 ⇒ スtockヤード

全ての施設がガラス張りで見学。

ペットボトル・空き缶・破砕鉄は手選別

ペットボトルの手選別作業

≪視察場所≫

② もりやまエコパーク交流拠点施設

「環境」「健康」「交流」をはぐくむ活動拠点

≪視察内容≫

【施設概要】

環境学習ゾーン

環境学習室

市内の小学生・中学生が琵琶湖の恵みやごみ問題・琵琶湖の
素晴らしさや大切さについて環境学習を実施

工作室、交流・学習コーナー

キッチンスペース

親子や仲間ですり料理・お菓子作りをして楽しんでいる

- 健康増進ゾーン 温水プール（25m×幅16.5m 8レーン）
市内の学校が授業でプールを利用
トレーニングエリア
10種類以上のトレーニングマシーンを完備
- 交流促進ゾーン 多目的ホール（卓球・バドミントン・フットサル等利用）
温浴施設、畳コーナー、多目的スペース

グラウンドゴルフ場（無料）

バラ園

今後、多目的広場グラウンド・サッカーコート・バスケットボールコート
スケートボード場の建設も予定されている

〈所 感〉

1. 地域社会にとってクリーンセンターは重要な施設ですが、近隣住民にとっては騒音や臭気などの問題が懸念されるので「もりやまエコパーク環境センター」では様々な工夫をされている。施設内は常に職員が清掃されておりゴミは落ちていなかった。また、匂いも全然気にならなかった。

住民からの要請で、煙突（32m）は施設内にあり2mのみ施設外にある。住所も従来の住所ではなく新しい住所を追加登録。

新クリーンセンターは住宅地からは離れているが、3市の共同施設のため、清掃車等の行き来も多くなるので近隣住民との話し合いは重要であると思います。

2. 守山市では、小中学校の環境学習が活発に行われており、ゴミの減量・分別の必要性。また、琵琶湖の恵みや大切さを学習し、将来を担う子どもたちの環境意識の醸成が図られている。小野市でも、子どもたちから環境問題等についての学習や活動が活発に行われることを希望します。

3. 守山市では温水プールを学校のプール授業に使用されており、小野市でも各学校のプール維持費は多額のため温水プールの設置は有効であると考えます。

4. 「もりやまエコパーク交流拠点施設」には、交流・学習コーナー、工作室、キッチンスペース、トレーニング室、グラウンドゴルフ場等あり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用があり参考になりました。付帯施設については、小野市は加東市・加西市の3市の共同経営や立地上のこともあり十分検討を重ねることが必要と考えます。

5. 新クリーンセンターが市民に愛される活動拠点になるように議会・議員も重要な役割を担うため、とても意義のある視察となりました。